

# 平成 18 年度 要支援認定者サービス利用調査 報告書

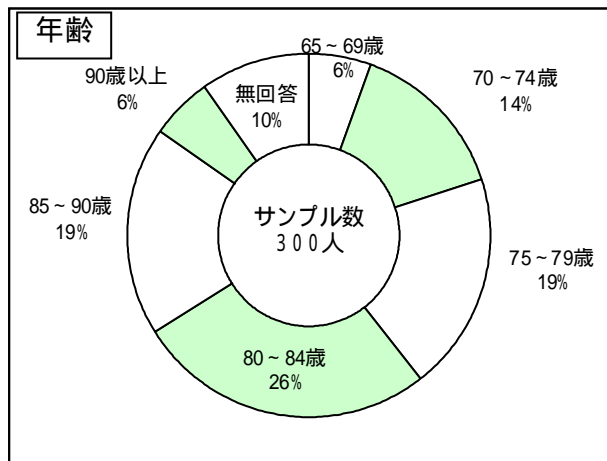
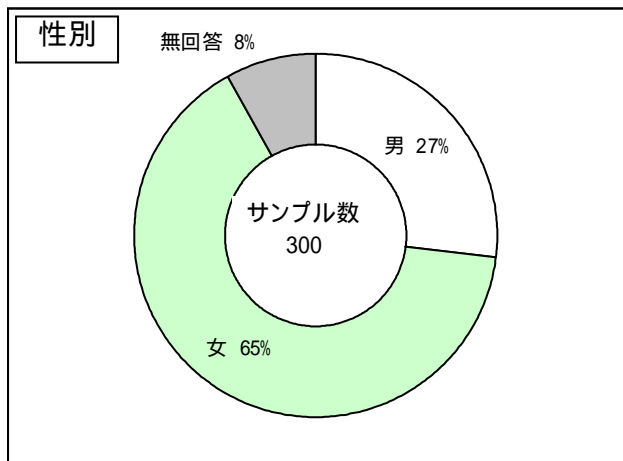
この調査は、平成 18 年 11 月時点において要支援 1、要支援 2 の要支援認定を受けているが、介護予防サービスを利用していない 400 人を無作為に抽出し、サービス利用についてアンケート方式により無記名の調査を行った。  
調査期間は、平成 19 年 2 月 13 日から 23 日までの 11 日間である。  
回収数は 300 件、回収率 75.0%である。

平成 19 年 3 月

練馬区健康福祉事業本部福祉部介護保険課

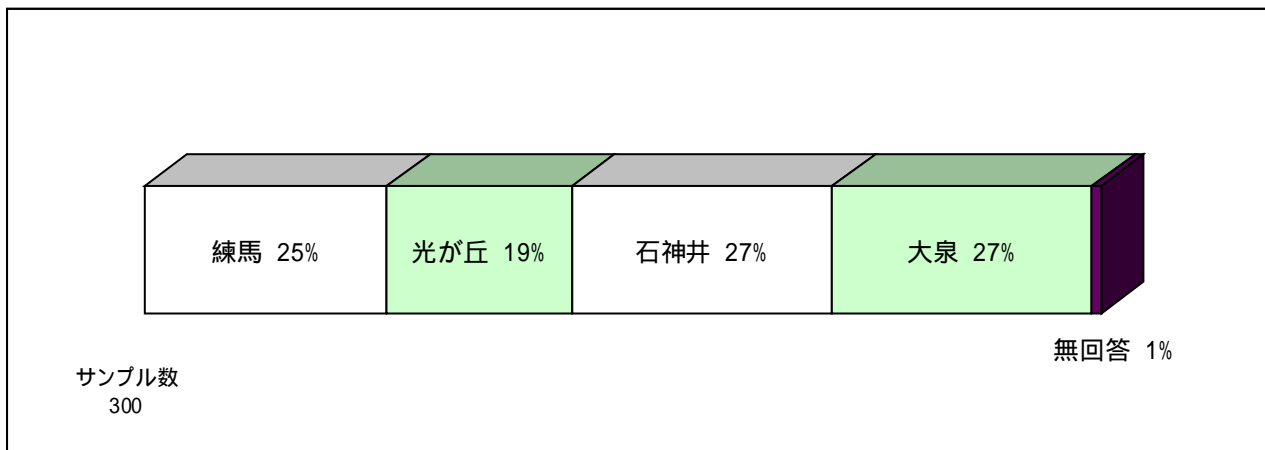
問1 あなた(あて名のご本人)の性別と、平成19年2月1日現在の満年齢はおいくつですか。  
( はそれぞれ1つずつ)

調査回答者の性別は、「男」が27%、「女」が65%である。  
年齢は、前期高齢者(65～74歳)が20%、後期高齢者(75歳以上)が70%である。



問2 あなた(あて名のご本人)のお住まいはどちらですか。また、何丁目かもお答えください。  
( は1つずつ)

調査回答者の居住地区は、「石神井地区」「大泉地区」が27%で最も高く、次いで「練馬地区」25%、「光が丘地区」19%である。



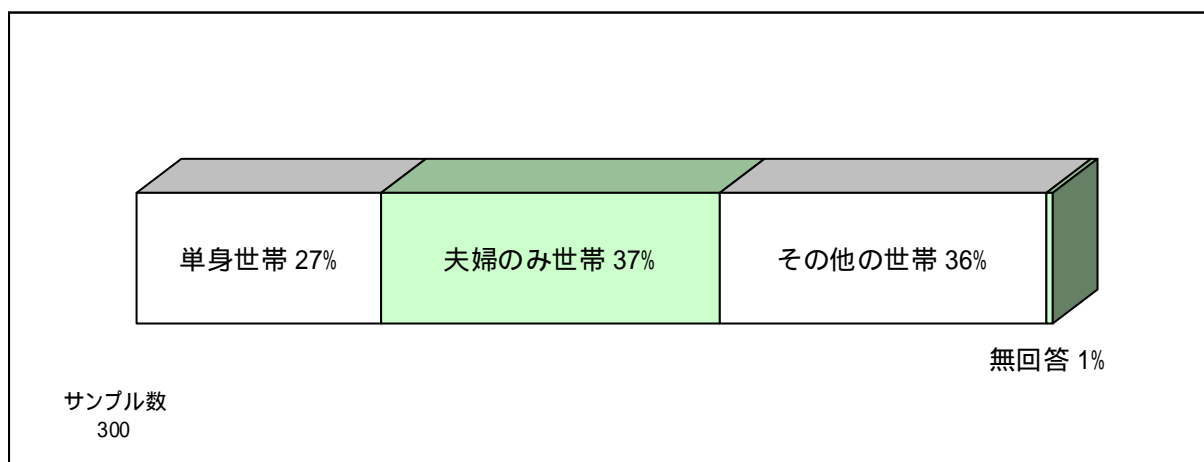
問3 あなた(あて名のご本人)の現在の世帯構成を以下の中からお答えください。( は1つ)

調査回答者の世帯構成は、「単身世帯」が 27%、「夫婦のみ世帯」が 37%で、この両者で 64%を占める。

前期高齢者では「夫婦のみ世帯」が 46%で最も高く、後期高齢者でも「夫婦のみ世帯」が 37%で最も高い。

要支援 1・2 では、「夫婦のみ世帯」が 36%、42%と高い。

また、「単身世帯」は、「男」が 16%であるのに、「女」が 33%と高くなっている。

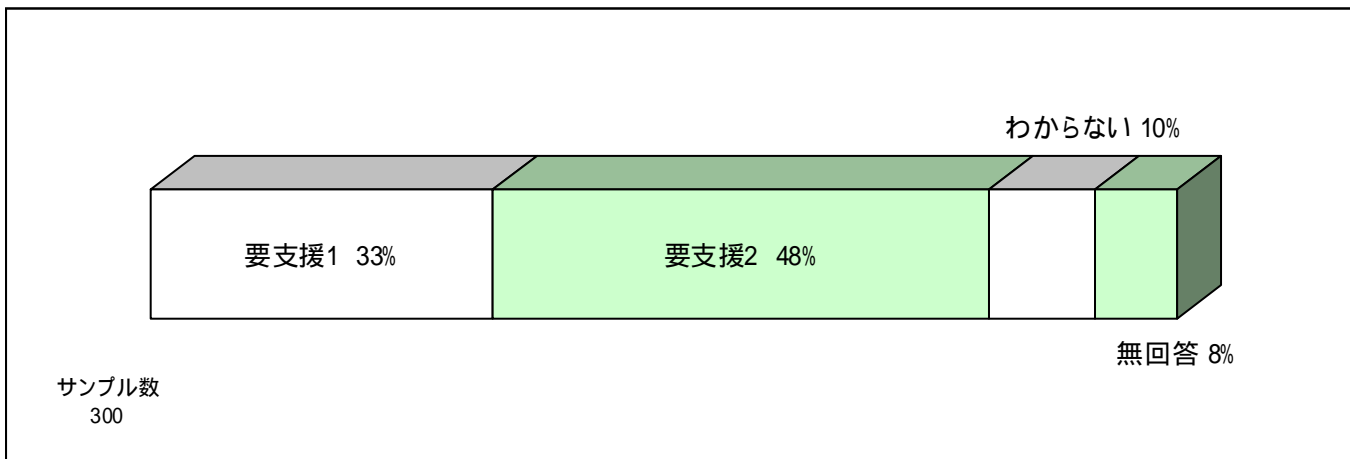


<性別・年齢別・要支援度別の比較>

		全体	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他の世帯	無回答
全体		300	80	111	107	2
		100.0%	26.7%	37.0%	35.7%	0.7%
性別	男	81	13	44	24	
	女	195	64	57	74	
年齢別	前期高齢者	63	15	29	19	
	後期高齢者	205	64	76	65	
要支援別	要支援 1	100	32	36	32	
	要支援 2	146	35	61	50	

問4 あなた(あて名のご本人)の2月1日現在の要支援度は次のうち、どれですか。( は1つ)

調査回答者の要支援度は、「要支援1」が33%、「要支援2」が48%である。  
年齢や男女における要支援度も、全体の傾向と大きな違いはみられない。



<性別・年齢別の比較>

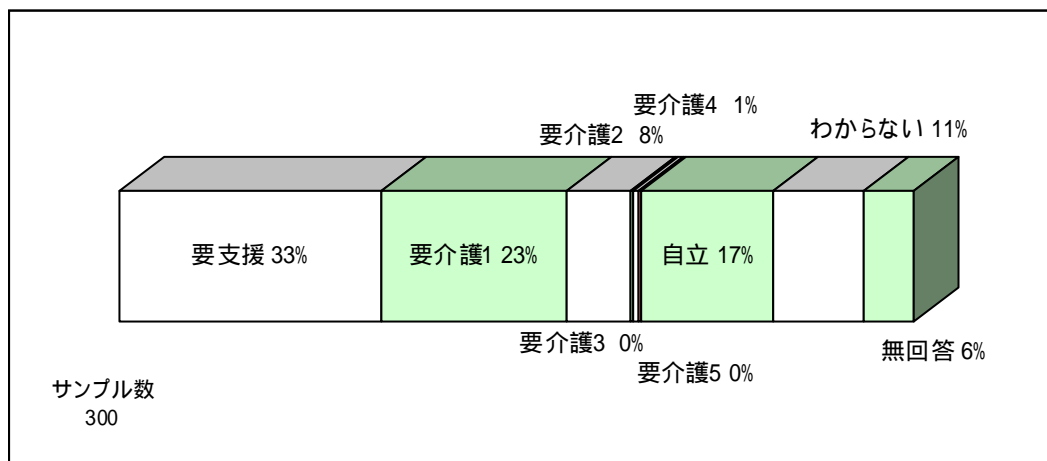
		全体	要支援1	要支援2	わからない	無回答
全体		300	100	145	31	24
		100.0%	33.3%	48.3%	10.3%	8.0%
性別	男	78	33	36	9	
	女	177	58	100	19	
年齢別	前期高齢者	59	21	30	8	
	後期高齢者	210	75	114	21	

問5 1年前(平成18年2月ごろ)の要介護度は次のうち、どれですか。( は1つ)

1年前の要介護度は、「要支援」が33%、「要介護1」が23%で、「自立」が17%を占める。

現在の要支援度と比較すると、1年前と現在が同じ要介護度の方は、現在が要支援1で1年前に要支援の人54%、現在が要支援2で1年前に要介護1の人28%で、計39%である。

また、1年前より要介護度が重くなった人は、1年前が自立で現在要支援1の人14%、1年前が自立・要支援で現在要支援2の人50%、である。そして、1年前より要介護度が軽くなった人は、1年前が要介護1以上で現在要支援1の人27%、1年前が要介護2以上で現在要支援2の人12%である。



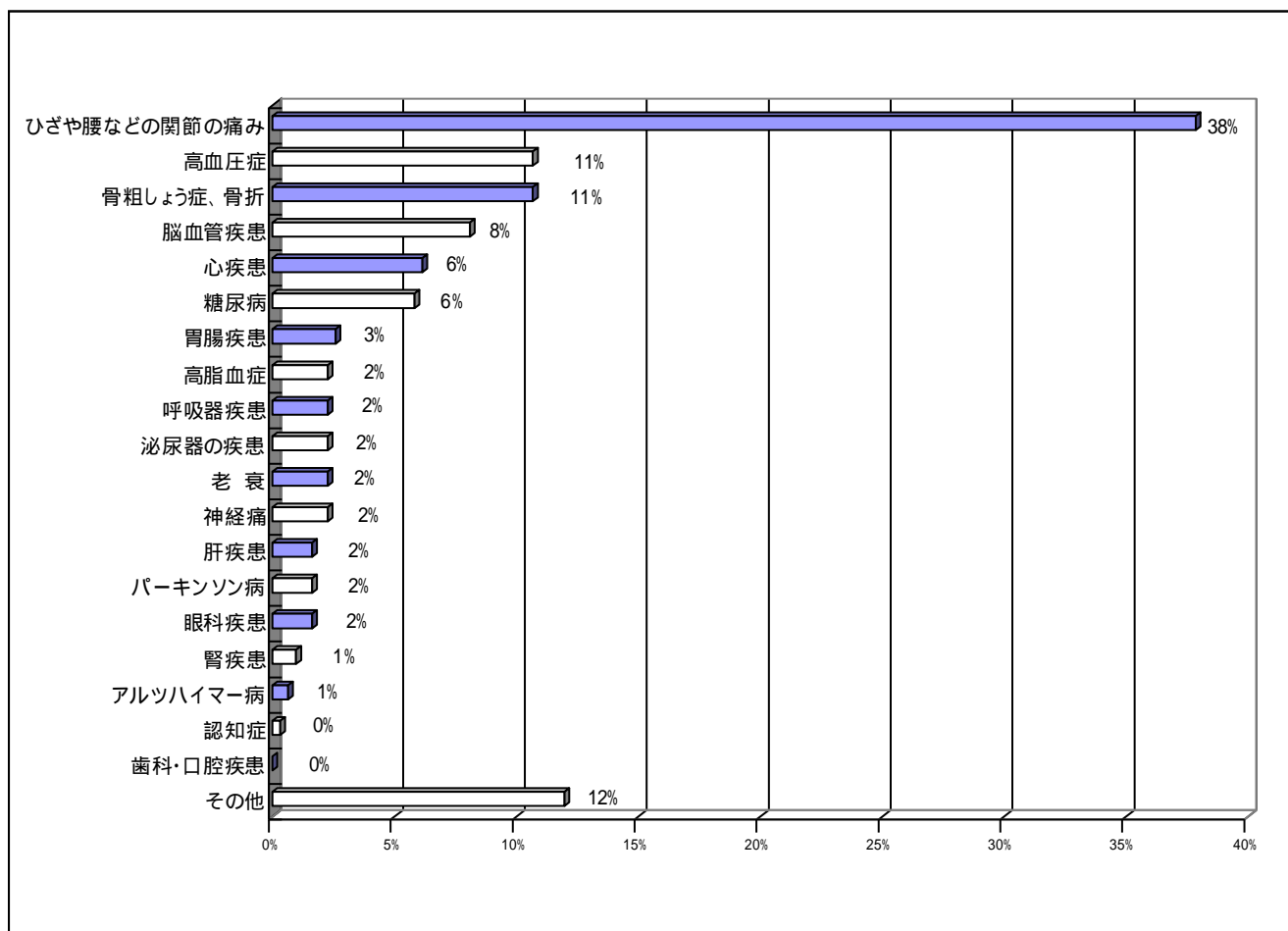
<要支援別・性別・年齢別の比較>

1年前		全体	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立	わからない	無回答
現在	全体	300	99	70	24	1	2	1	50	34	19
		100.0%	33.0%	23.3%	8.0%	0.3%	0.7%	0.3%	16.7%	11.3%	6.3%
要支援別	要支援1	98	53	21	5	0	0	0	14	5	
	要支援2	137	41	39	16	1	0	0	28	12	
性別	男	76	32	20	5	1	0	0	11	7	
	女	185	58	48	17	0	1	0	37	24	
年齢別	前期高齢者	58	19	12	6	1	0	1	10	9	
	後期高齢者	214	77	58	17	0	1	0	38	23	

問6 あなた(あて名のご本人)が要支援状態になった主なきっかけは何ですか。( は1つ)

要支援状態になった主なきっかけは、「ひざや腰などの関節の痛み」が 38%で最も高く、次いで「高血圧症」・「骨粗しょう症」が11%となっている。

老化現象と生活習慣病という区分でみると、「ひざや腰などの関節の痛み」などの老化現象が51%と高く、「脳血管疾患」などの生活習慣病が33%となっている。

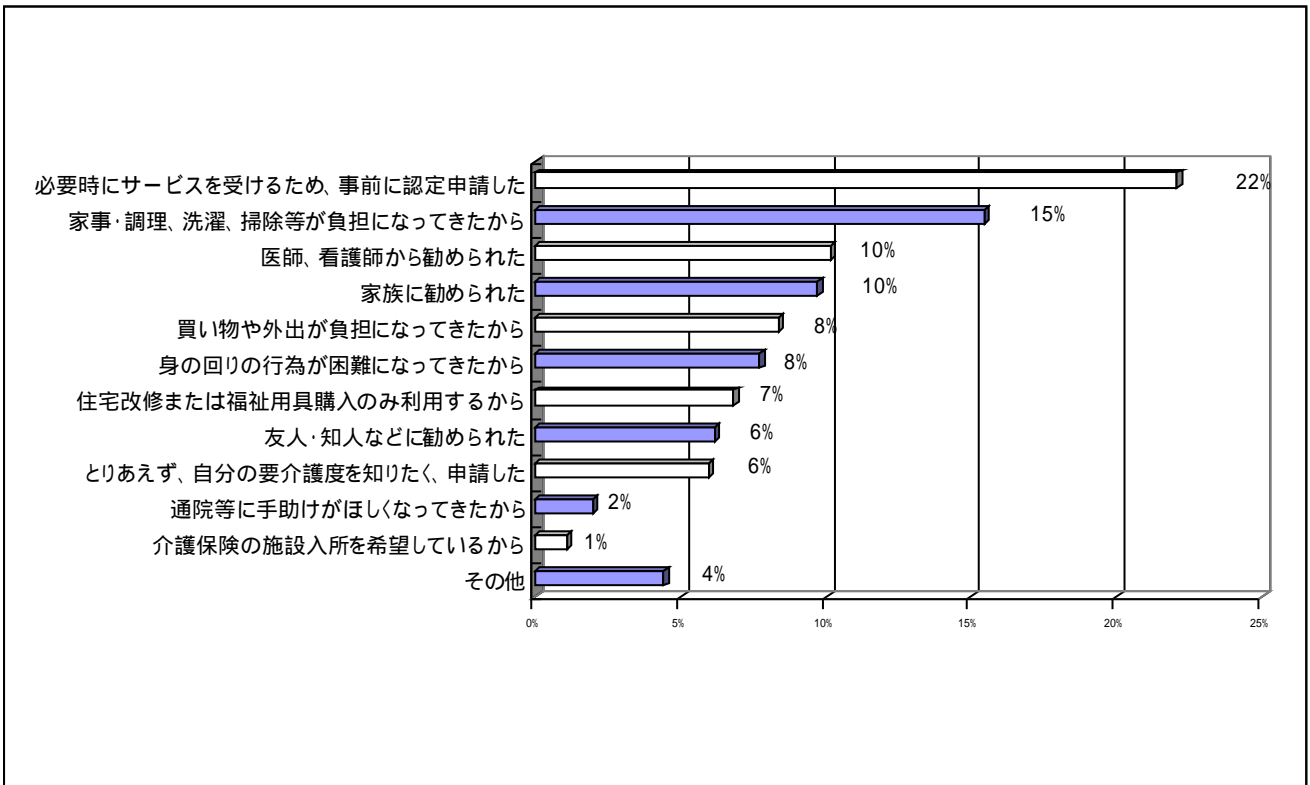


全体	ひざや腰などの関節の痛み	高血圧症	骨粗しょう症、骨折	脳血管疾患	心疾患	糖尿病	胃腸疾患	高脂血症	呼吸器疾患	老衰	泌尿器疾患	神経痛	肝疾患	パーキンソン病	眼科疾患	腎疾患	アルツハイマー病	認知症	歯科・口腔疾患	その他
346	117	33	33	25	19	18	8	7	7	7	7	7	5	5	5	3	2	1	0	37
100%	34%	10%	10%	7%	5%	5%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	11%

問7 あなた(あて名のご本人)が、介護保険の要支援認定申請をした理由は何ですか。次のうち、あてはまるものに2つまで をつけてください。( は2つまで)

要支援認定申請をした理由は、「必要時にサービスを受けるため、事前に認定申請した」22%が最も高く、次いで「家事・調理、洗濯、掃除等が負担になってきたから」15%、「医師、看護師から勧められた」10%となっている。

要支援度別にみても、全体の傾向との違いはみられない。



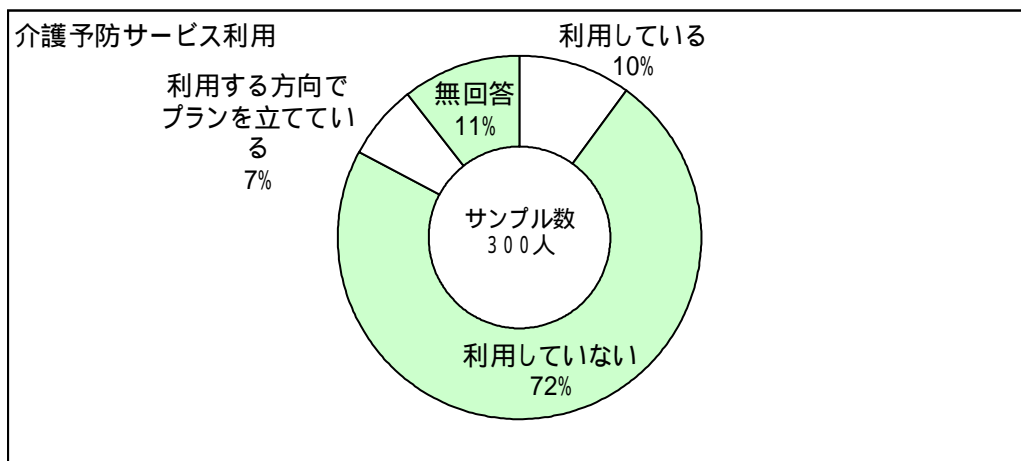
<要支援別の比較>

	全体	必要時にサービスを受けるため	家事調理、洗濯、掃除等が負担に	医師、看護師から勧められた	家族に勧められた	買い物や外出が負担になってきたか	身の回りの行為が困難になってき	住宅改修または福祉用具購入のみ	友人・知人などに勧められた	とりえず、自分の要介護度を知	通院等に手助けがほしくなった	介護保険の施設入所を希望してい	その他	
		割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
全体	453	100	70	46	44	38	35	31	28	27	9	5	20	
	100.0%	22.1%	15.5%	10.2%	9.7%	8.4%	7.7%	6.8%	6.2%	6.0%	2.0%	1.1%	4.4%	
要支援別	要支援1	157	32	27	16	15	11	9	9	15	12	1	2	8
	要支援2	240	59	38	27	21	18	20	18	10	10	7	3	9

問8 あなたは、現在介護予防サービスを利用されていますか。( は1つ)

調査回答者は、平成18年11月時点では介護予防サービスを利用していなかったが、19年2月時点で10%の方がサービスの利用を始めており、「利用する方向でプランを立てている」人も含めると、17%の方が利用するとなる。

調査回答者のうち介護予防サービスを「利用していない」人は72%である。



<要支援別・性別・年齢別の比較>

		全体	利用している	利用していない	利用する方向でプランを立てている	無回答
全体		300	30	218	20	32
		100.0%	10.0%	72.7%	6.7%	10.7%
要支援別	要支援1	104	13	87	4	
	要支援2	160	14	133	13	
性別	男	72	9	62	1	
	女	178	18	141	19	
年齢別	前期高齢者	58	2	53	3	
	後期高齢者	199	27	158	14	

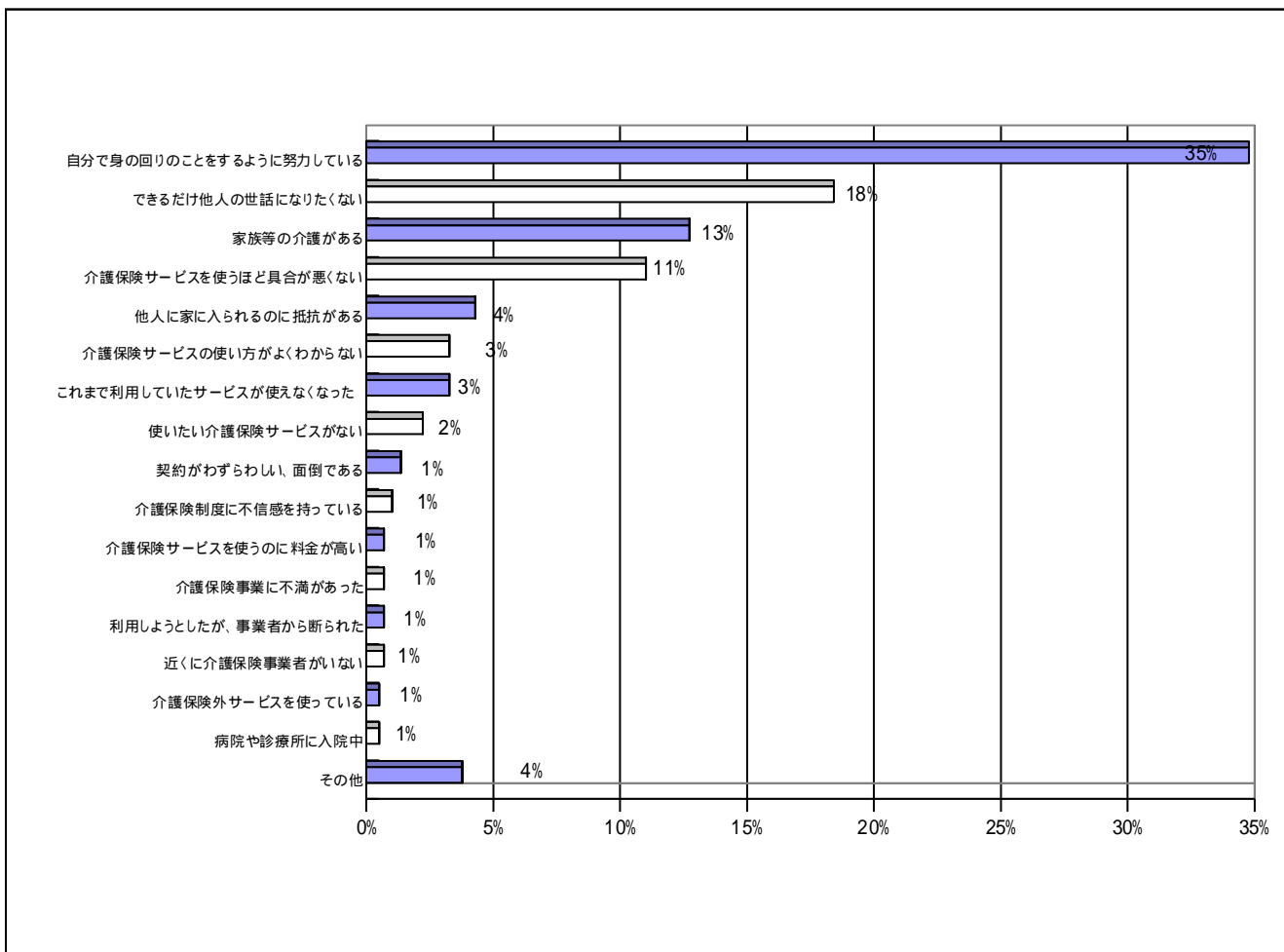


問9 現在、介護予防サービスを利用されていない理由は何ですか。あてはまるものに3つまでをつけてください。( は3つまで)

現在、介護予防サービスを利用していない主な理由は、「自分で身の回りのことをするように努力している」が 35%で最も高い。次いで、「できるだけ他人の世話になりたくない」18%、「家族等の介護がある」13%、「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」11%が上位に上げられている。

一方で、「これまで利用していたサービスが使えなくなった」2%、「介護保険制度に不信感を持っている」1%、「介護保険事業に不満があった」1%など、制度改革に関係していると思われる理由は 4%ほどであった。

さらに、要支援別・性別・年齢別に比較してみても、全体の傾向性との違いは見られなかった。



<要支援別・性別・年齢別の比較>

		全体	自分で身の回りのことをするように努力している	できるだけ他人の世話になりたくない	家族等の介護がある	介護保険サービスを使うほど具合が悪くない	他人に家に入られるのに抵抗がある	介護保険外サービスを使っている	介護保険サービスの使い方がよくわからない	これまで利用していたサービスが使えなくなった	使いたい介護保険サービスがない	契約がわずらわしい、面倒である	介護保険制度に不信感を持っている	介護保険サービスを使うのに料金が高い	介護保険事業に不満があった	利用しようとしたが、事業者から断られた	近くに介護保険事業者がない	病院や診療所に入院中	その他
全体		581	202	107	74	64	25	19	19	13	8	6	4	4	4	4	3	3	22
	(%)	100	35	18	13	11	4	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	4
要支援別	要支援1	196	68	39	22	19	5	1	7	12	4	2	3	1	0	1	1	0	11
	要支援2	290	101	51	41	27	13	2	7	11	8	4	3	3	4	2	2	1	10
性別	男	157	52	25	22	23	3	0	8	5	5	1	2	0	1	1	0	1	8
	女	387	136	74	49	37	14	3	10	18	8	6	4	4	3	3	3	1	14
年齢別	前期高齢者	129	46	19	21	20	1	0	4	6	1	1	2	0	0	2	1	0	5
	後期高齢者	435	149	85	51	43	18	3	15	18	11	7	4	4	4	2	2	3	16

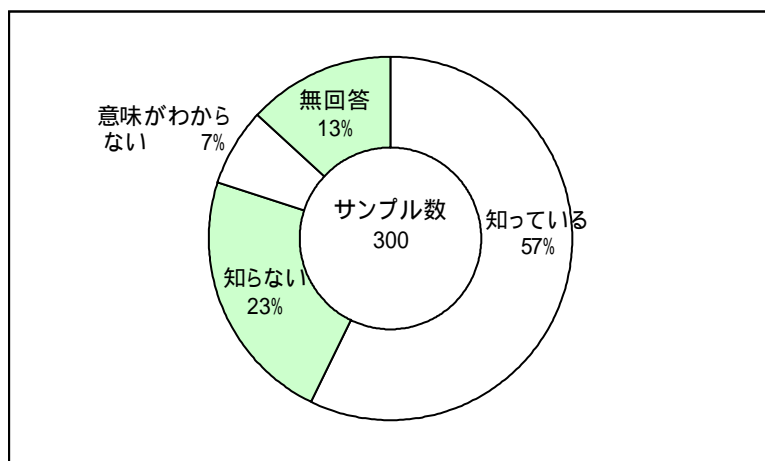
問10 現在、介護予防サービスを利用していない場合、今後どのような状態になったらサービスをご利用になりたいですか。具体的にご記入ください。

「今後どのような状態になったらサービスをご利用になりますか」との問いに、「自分で身の回りのことができなくなったとき」が42件(29%)で最も多い。次いで、「歩けなくなったとき」25件(17%)、「身体が弱って不自由になってきたら」13件(9%)となっている。

・	自分で身の回りのことができなくなったとき	42件
・	歩けなくなったとき	25件
・	身体が弱って不自由になってきたら	13件
・	買い物や掃除、洗濯等ができなくなったとき	11件
・	自分で身の回りのことができなく、家族等で介護ができない場合	9件
・	足腰の神経の痛みが強くなったとき	9件
・	動けなくなったら	7件
・	病気が悪化し困ったとき	5件
・	夫に先に死亡されたとき	5件
・	身体的に一人で働くのが困難と思える状態になったとき	3件
・	認知症になったら	2件
・	要介護になったら	2件
・	病院等の通院が不自由になったとき	2件
・	一人で外出できなくなったとき	2件
・	入浴ができなくなったとき	2件
・	重いものがもてなくなったとき	1件
・	自分だけでストマ装具を装着できなくなったとき	1件
・	高齢夫婦のどちらかの面倒をみななければならないとき	1件
・	パーキンソン症が進行したとき	1件
・	食事の支度が大変なとき	1件
・	家族が家を留守にするととき	1件
・		
・		
・		145件

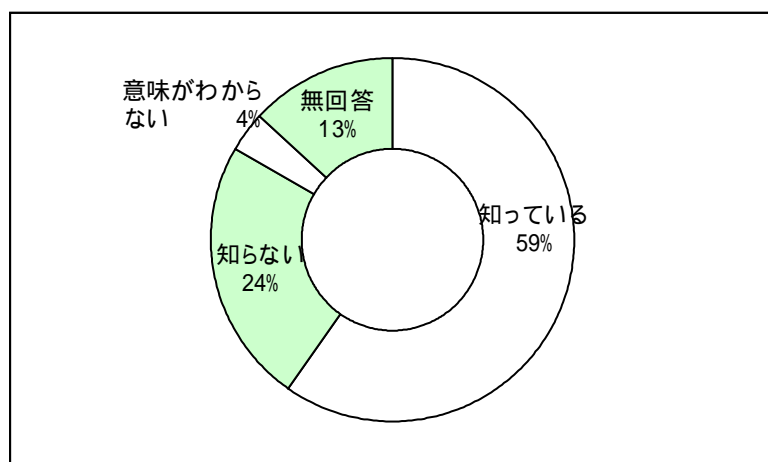
問11 あなたが介護予防サービスを利用するには、介護予防サービス計画(ケアプラン)を作成しないと利用できません。そのことはご存知ですか。( は1つ)

介護予防サービスを利用するには、介護予防サービス計画(ケアプラン)を作成しないと利用できないということを「知っている」人は57%であった。「知らない」「意味が分からない」と応えた人を含め43%の人が知らない状況である。



問12 介護予防サービス計画を担当するのは、原則、お住まいの地域包括支援センターが担当します。そのことはご存知ですか。( は1つ)

また、介護予防サービス計画を担当するのはお住まいの地域包括支援センターであるということを「知っている」人は59%であった。「知らない」「意味が分からない」と応えた人を含め41%の人が知らない状況である。



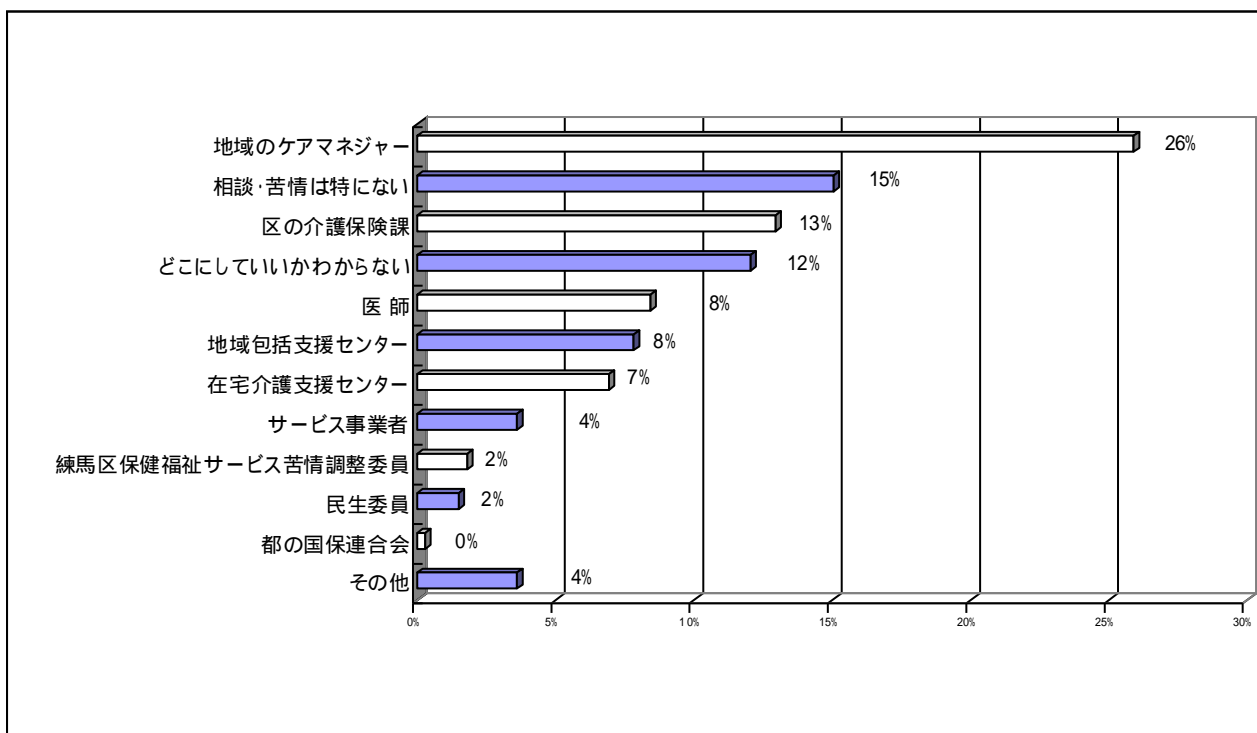
## 問13 介護予防サービスに対するご要望がありましたら教えてください。

「介護予防サービスに対するご要望を教えてください」との問いに、「介護予防サービスの内容等の情報をもっと知らせて欲しい」が9件(16%)で最も多い。次いで、「訪問介護の家事援助などできる範囲・時間を拡大して欲しい」6件(11%)、「もっと近くにサービス利用できる所があると良い」5件(9%)となっている。

・ 介護予防サービスの内容等の情報をもっと知らせて欲しい	9件
・ 訪問介護の家事援助などできる範囲・時間を拡大して欲しい	6件
・ もっと近くにサービス利用できる所があると良い。近くの所は断られた。	5件
・ もっと多様なサービスをつくり、利用しやすくして欲しい	4件
・ 一時的に状態が悪くなった場合には使えない	3件
・ リハビリに力を入れて欲しい。専門性を高めて欲しい	3件
・ 家族の介護もあるので、通所型の予防サービスは使えない	2件
・ 制度は知っていても、実際利用できるのかという不安がある	2件
・ どこに相談していいのかわからない	2件
・ プランを作成してからでないとうりできないので不便	2件
・ ケアマネに自分の状況をわかってもらうのに時間がかかり、プランが満足 いかない(プラン作成が難しい)	2件
・ 定期的に訪問・電話して様子を見て欲しい	2件
・ 一定の年齢を超えたら、無条件に利用できるようにして欲しい	1件
・ 手続きが複雑にならないようにして欲しい	1件
・ 申請から認定までに時間がかかりすぎる	1件
・ 老人ホーム等の施設建設に力を入れて欲しい	1件
・ 要支援になる前の予防に力を入れて欲しい	1件
・ 枠にとらわれず柔軟に対応して欲しい	1件
・ 認定審査の判定が厳しすぎる	1件
・ 行政が直接、生の声を聞くようにすべき	1件
・ ベッドのレンタルができなくなった。少しでも助成して欲しい	1件
・ タクシーを利用しやすくして欲しい	1件
・ 食事サービスを改善して欲しい	1件
・ 事業者間で質の差が大きい。指導強化して欲しい	1件
・ 自分の状態では、予防サービスを受けても改善されないと思う	1件
	55件

問14 あなた(あて名のご本人)は、介護保険に関する相談・苦情をどこにしていますか。  
(あてはまるものすべてに )

介護保険に関する相談・苦情は、「地域のケアマネジャー」が最も高く 26%である。次いで高いのは「区の介護保険課」13%、「医師」8%、「地域包括支援センター」8%となっている。また、「相談・苦情は特にない」15%、「どこにしていかわからない」12%いる。

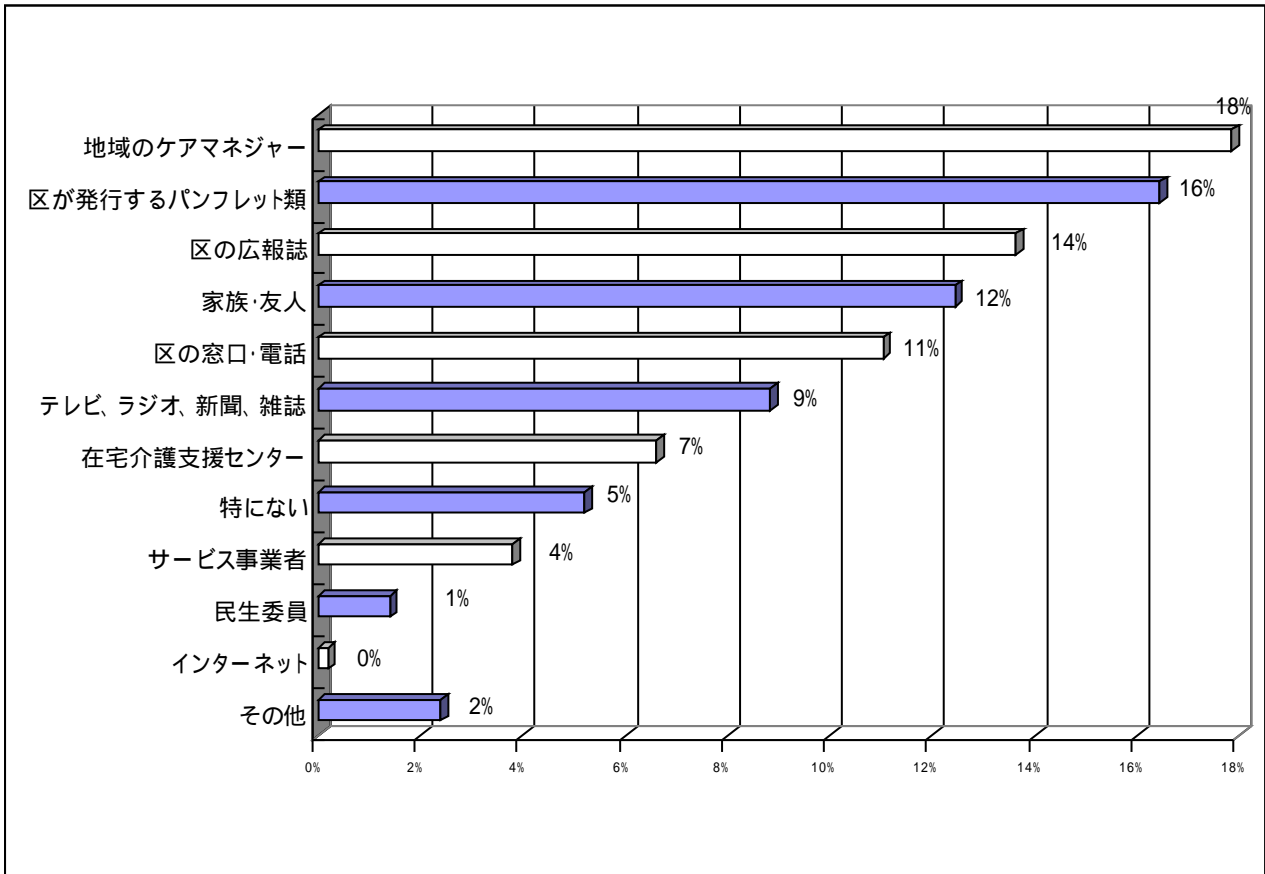


<要支援別・性別・年齢別の比較>

		全体	地域のケアマネジャー	相談苦情は特にない	区の介護保険課	どこにしていかわからない	医師	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	サービス事業者	練馬区保健福祉サービス苦情調整委員	民生委員	都の国保連合会	その他
全体		332	86	50	43	40	28	26	23	12	6	5	1	12
	(%)	100.0	25.9	15.1	13.0	12.0	8.4	7.8	6.9	3.6	1.8	1.5	0.3	3.6
要支援別	要支援1	112	35	15	11	16	13	3	9	3	2	3	0	2
	要支援2	177	43	25	27	16	11	22	10	9	3	1	1	9
性別	男	96	23	15	15	11	9	8	6	4	2	2	0	1
	女	218	58	33	27	25	18	17	16	8	4	3	1	8
年齢別	前期高齢者	68	18	12	13	7	5	3	1	5	0	0	0	4
	後期高齢者	257	66	37	30	33	22	21	21	7	6	5	1	8

問15 あなた(あて名のご本人)は、介護保険の制度・サービス事業者等に関する情報は、どこから得ていますか。(あてはまるものすべてに )

介護保険の制度・サービス事業者に関する情報入手先は、「地域のケアマネジャー」が最も高く18%である。次いで「区が発行するパンフレット類」16%、「区の広報誌」14%が高い。

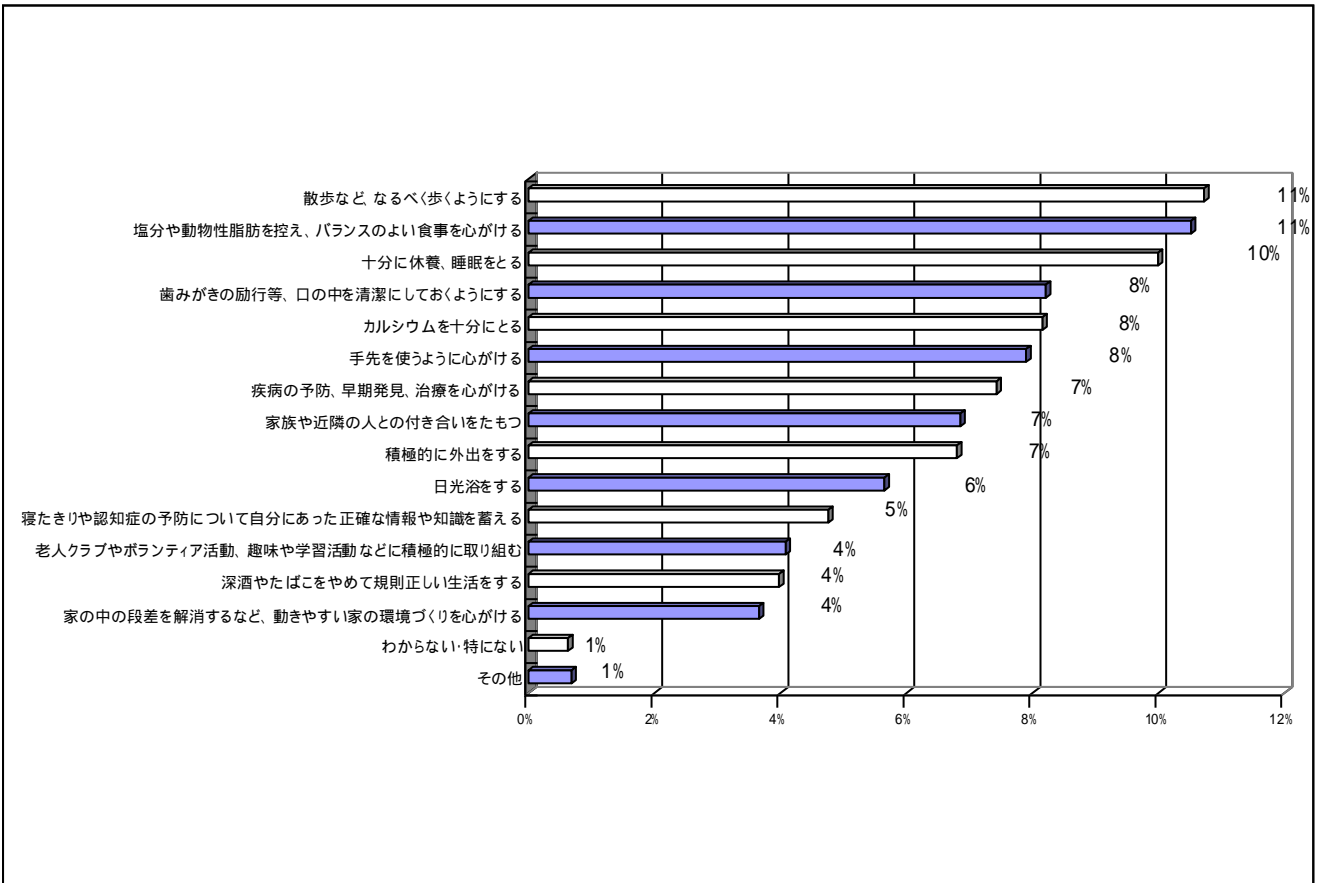


<要支援別・性別・年齢別の比較>

	全体	地域のケアマネジャー	区が発行するパンフレット類	区の広報誌	家族・友人	区の窓口・電話	テレビ、ラジオ、新聞	在宅介護支援センター	特にない	サービス事業者	民生委員	インターネット	その他	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
全体	498	89	82	68	62	55	44	33	26	19	7	1	12	
	(%)	17.9	16.5	13.7	12.4	11.0	8.8	6.6	5.2	3.8	1.4	0.2	2.4	
要支援別	要支援1	177	36	28	26	21	14	20	16	4	3	3	0	6
	要支援2	259	45	45	33	30	36	22	13	14	15	2	0	4
性別	男	145	29	25	21	11	16	15	10	7	7	2	0	2
	女	328	56	53	45	47	37	27	20	19	12	5	1	6
年齢別	前期高齢者	102	17	13	12	19	12	9	7	5	4	1	0	3
	後期高齢者	384	71	64	54	41	42	35	25	21	15	6	1	9

問16 要介護にならないためや認知症の予防のために、あなた(あて名のご本人)はどのような取り組みが必要と考えますか。(あてはまるものすべてに )

要介護にならないためや認知症の予防のための取り組みは、「散歩など、なるべく歩くようにする」「塩分や動物性脂肪を控えバランスのよい食事を心がける」が11%で最も高い。次いで「十分に休養、睡眠をとる」10%となっている。



	全体	散歩など、なるべく歩くようにする	塩分や動物性脂肪を控え、十分に休養、睡眠をとる	歯みがきの励行等、口の中を清潔に	カルシウムを十分にとる	手先を使うように心がける	疾病の予防、早期発見、治療を心がける	家族や近隣の人との付き合いをたもつ	積極的に外出をする	日光浴をする	寝たきりや認知症の予防について	老人クラブやボランティア活動、趣味や	深酒やたばこをやめて規則正しい生活	家の中の段差を解消するなど、	わからない・特いない	その他	
全体	1,912	205	201	191	157	156	151	142	131	130	108	91	78	76	70	12	13
(%)	100.0	10.7	10.5	10.0	8.2	8.2	7.9	7.4	6.9	6.8	5.6	4.8	4.1	4.0	3.7	0.6	0.7



問17 高齢者施策について、練馬区へのご要望・ご意見等がございましたら自由にお書きください。

「高齢者施策の要望・意見等」では、「税金や保険料、医療費などが高い」が5件(8%)で最も多い。次いで、「趣味を活かせる場が欲しい」「高齢者が安心してすめる安価な住宅や老人ホームを作りたい」などが4件(6%)となっている。

・	税金や保険料、医療費などが高い	5件
・	趣味を活かせる場が欲しい	4件
・	高齢者が安心してすめる安価な住宅や老人ホームを作りたい	4件
・	必要なときに、納得のいくサービスが受けられるようにして欲しい	4件
・	通院にタクシーへの補助や割引があると助かる	3件
・	散歩中、自転車が多くて怖い	3件
・	筋力アップや足腰の体操など、近所で気軽に受けられるようにして欲しい	3件
・	安心して自宅で暮らせるシステムが欲しい(安否確認や防犯など)	3件
・	医療機関や往診をしてくれる病院をもう少し充実して欲しい	3件
・	色々な施策がわかり難い、分かりやすい書面作りや、説明をして欲しい	3件
・	日常生活への補助等が欲しい(模様替えの手伝い、家の保守、入浴券など)	3件
・	申請から認定まで時間がかかりすぎる	2件
・	同居家族がいても状況に応じてサービスを使えるようにして欲しい	2件
・	コミュニティバスの路線を増やして欲しい	2件
・	近所の商店の存続や、御用聞制度など買い物をしやすくして欲しい	2件
・	駅、バス停等に腰をおろすところを作りたい	2件
・	医者の勉強不足、高齢者に対する無理解を何とかして欲しい	2件
・	対象者の立場での目線を備えた人材の配置をして欲しい	1件
・	QOLを再考・協議して、長生きさせるだけではないようにして欲しい	1件
・	医療不信に対する取組みをして欲しい	1件
・	「要支援」と「要介護」では何故、雲泥の差があるのか	1件
・	老々介護のため今後は不安	1件
・	特別養護老人ホームを増やして欲しい	1件
・	練馬区独自の高齢者施策を作りたい	1件
・	遺骨を公営で預かってもらえる場を広く知らせて欲しい	1件
・	介護支援に関する窓口を統一して欲しい	1件
・	地老人会の会員が少なくなっても、区の補助金を切らないで欲しい	1件
・	石神井公園を舗装して車椅子で利用しやすいようにして欲しい	1件
・	介護保険料を払いっぱなしなので払い戻しの仕組みを作りたい	1件
・	元気な人が不正に介護保険のサービスを利用している	1件
・	認知症予防の教室を開催して欲しい	1件
		64件